



内藤 とし子 議員

風しん予防ワクチンについて

問 風疹が流行しており、妊婦さんがかかると生まれた子どもが風しん症候群にかかることがあるということ、知事が風しんワクチン接種に助成をするといっていますが、具体的に対象者、助成額などの内容をお示ください。

答 助成事業は7月から、助成対象者は妊娠を予定または希望する女性とその夫、助成額は県と市が25000円ずつ負担し、本人負担は5000円負担、風しん単独ワクチンに加え、麻しん風しんワクチンの混合ワクチンでの接種も可能、助成は償還払い方式、低所得者対策としては生活保護、市民税非課税世帯については1万円の接種費用を助成、県の要綱の適用日の関係で6月1日以後に接種を受けた人には助成する。

問 国として子どもの将来に責任を持つ意味でも接種制度に対して財政支援をされるよう求め

る必要があると考える。

答 接種制度は不活化ポリオワクチンの導入など制度が大きく変わり、市の財政負担も増加していることから、全国市長会などを通し国へ財政措置を講じるよう要望していく。



西三河地方税滞納整理機構について

問 西三河の他市は1年間110件、高浜市は50件移管とのことだが、人口がまちまちなのに110件移管するというのは機械的過ぎる。担税能力があったが支払い能力がない人、払いたくても払えない人など事情のある納税者には機構は不適切で、徴収業務は自治体の仕事で徴収業務は自治体首長の名前で行なわれている。任意の組織なのに差し押さえをすぐに言うのはなぜか。さらにこれまで立会いを求めていたのに今は認めないのはなぜか。

答 滞納者のプライバシーの保護の観点、滞納者との折衝がスムーズに行なわれないため。

(仮称)衣浦港高浜緑地整備について



鈴木 勝彦 議員

問 整備の進捗状況と今後の見通しは。

答 平成24年度末に埋立工事が竣工し、部分的な沈降に対応するため必要となる土砂が用意されています。平成24年3月議会において、土地の面積及び町名の議決がなされ、その後、平成25年3月19日に都市計画決定の手続きを終え、用途を工業専用地域、更に臨港地区として指定を行いました。

今後の見通しでは、愛知県衣浦港務所では「高浜ベイサイド計画」で立案した計画図をベースとして基本設計を予定しています。

問 スポーツ施設について。

答 平成21年3月にまとめた「高浜ベイサイド計画報告書」において、利用可能な多目的スポーツグラウンドの整備を図り、大規模なイベントが開催できる空間としての活用と地域からの

ニーズの利用に対応した多目的広場も整備する計画です。

併せて、海との触れ合いの場として利用できる空間と、緑地内に藤江の渡しの記念碑を移設し、地域のコミュニティ形成の拠点としても整備する予定です。

問 管理体制について。

答 吉浜まちづくり協議会、渡し場かもめ会、NPOたかはまスポーツクラブ、民間企業者の関係者等の計画改訂検討会で協議され、緑地整備後の維持管理を視野に入れた意見交換会も行われており、利用が促進され、維持管理がしやすい緑地の実現に向けて進めていきます。

問 「衣浦港港湾計画」の見直しについて。

答 新たな計画では目標年次を平成30年代後半となります。

高浜市の沿岸部は、交流関連ゾーンに位置づけられ、親しまれる港湾空間づくりや観光機能の充実が進められる予定です。

今後は、第5回検討委員会を幹事会との合同委員会が開催され、衣浦港の港湾計画(案)について、協議を行う予定です。

その後、地方港湾審議会を経て、交通政策審議会にて内容の審議を受ける予定となっております。